

安曇野 百選かわら版

発行：安曇野百選プロジェクト
編集長：等々力秀和

おらほの歳時記

冬じたく



早いむんだいねえ。秋も終わり
だじ。でもまだまだ日中は半そで
だじ。そろそろ冬將軍がすぐ近く
に来たじ。山も初冠雪だしせえ。白鳥も来た
じ。もみじも。うるしも。桜も。イチヨも。
もうありとあらゆるものが秋真っ盛り。祭り
も市役所の周り、全部の船がうねり、あおり、
でくが踊っていたじ。十月三十一日は穂高で
ハロウインの行進もあつたし、十一月十四、
十五日はそば祭り、また上高地閉山式と続き、
冬仕度も始まる。

十二月はいつものことだけどどのうちでも
七福神の二人であるえびすさんと大黒さんを
南向きにはって幸いをもたらす福の神として
えびすさんは商売繁盛の神として右に、又農
村の豊作をもたらす田の神として大黒天を左
にまつる。大黒とは僧の妻の俗称でもあるが

自在天の化身で仏教の守護神をまつつて
台所へつけてえびすさんと共に幸を願う
として正月には欠かせないものの一つだ
じ。そして神だなをその家の長男がほこり
を払って正月を迎えるのがこの辺りのし
きたりだが、今は世界中が日本に集まる

じ。ハロウインをやつてクリスマスをやつて
寺の鐘を聞いて、御宮に二年参りをしるえれ
え国だじ。ブタやウシを食べてもかまわねえ
し幸せな国でもあるじ。あと二ヶ月少して今
年も終わる。早いむんだいね。あぜまめでみ
そをつくり、たまりを作り、塩のきいた飛騨
ブリか川を上つて来たサケか又、鶏肉で雑煮
を作つて正月を迎える用意をしるじ。このあ
たりは日本で一番の寺子屋の多かつた所だ
で、すばらしい歴史上の人物が多く、十辺舎
一九も二百年も前にこの安曇野に来て八編の
本を書いてくれたじ。大糸線も百年目。拾ヶ
堰も来年2000年。ともかくこの節目の年。
いい年でしめくくりてえむんだいね。じゃあ
あばね。

文・ひげ爺 (方言愛好家)

イベントのお知らせ

大好評！まちなかカレッジ

安

曇野まちなかカレッジの講座は、商店が行う一般
講座(まちゼミ)と市民団体等が行う安曇野学講
座の2つ。体験を主体に、和気あいあいとした雰囲気
で楽しく学ぶ講座です。また、期間中には参加者が楽
しめる文化祭も開かれます。安曇野百選プロジェクト
でも、2つの催しを開催します！

大糸線の風景写真展

穂高駅開業100周年を記念して、風景投稿サイト
「ビューポイントあづみの」で市民から募集した大糸
線の風景写真を展示します。

- 期間 12月6日(日)まで 6時〜23時30分
- 会場 穂高駅、明科駅

安曇野みちあかり

八千本の竹灯籠を穂高神社に飾る安曇野神竹灯(あ
づみのかみあかり)。この催事に併せて、穂高神社と大
門通りの歴史的建造物をライトアップします。

- 期間 12月4日(金)〜6日(日) 17時〜20時
- 会場 穂高神社&大門通り